



小松市小学校校長会 会長  
小松市立向本折小学校 校長  
**木原 浩二**

## ● 市P連の活躍は、学校、PTAの元気の源

小松市立学校PTA連合会の皆さんのこれまでのご活躍に、ねぎらいと感謝の気持ちを申し上げます。ありがとうございます。

さて、昨年11月16日に行われた「早寝早起き朝ごはん運動小松市民大会」では、斬新な企画力やサイエンスヒルズこまつにおける会場設営の工夫など、新しいことに積極的にチャレンジする小松市立学校PTA連合会の皆さんのパワーに深く感動しました。特に、母親委員会による発表の機会を設けたことは、大変有意義でした。子ども達のよりよい成長のために、保護者やPTAが積極的に子どもだけでなく、学級や学校にかかわっていくことの大事さを保護者の思いとして、とてもわかりやすく、工夫して発表していました。発表を終え、ステージから降りていく母親委員会の皆さんの表情は充実感にあふれ、まさにこの発表の成功を感じさせるものでした。この発表が学校やPTAにまた新たな元気と勇気を与えてくれました。

学校は、保護者、PTAの力が不可欠です。子ども一人一人の意識だけではなく、学級、学校としての集団意識の高まりを期待するには、学校だけの力では十分とは言えません。学校や保護者、PTAによる三者の連携が、個人や学級、学校それぞれの場面でとても有効な力となります。私も学級担任時代には、子ども達はもちろんですが、保護者とのつながりも大事にしました。子ども達とともに目指す姿を求めて進んでいくには、保護者の支えや後押しが大きな力となったからです。学校も同様に、保護者やPTAの力強い支えが自信となり、様々な活動や問題に対応していくことができるのです。

小松市立学校PTA連合会は過去からの踏襲ではなく、常に改善を求め、その時の最高をつくりだすこれまでの姿勢が、市内の学校やPTAへのエールとなり、活動意欲をかりたててくれました。これからも小松市立学校PTA連合会のますますのご活躍を期待しています。子ども達の健やかな成長のために、ともにがんばっていきましょう。



小松市立学校PTA連合会  
会長  
**齋藤 浩**  
(向本折小)

## ● PTAの図書館に入ってみましょう！

今年度も、「子ども達の心へ続く架け橋を」～家庭教育力の向上と学校、地域との更なる連携へ～をテーマに活動を展開して参りました。多くのPTA事業を通して、多くの仲間達と出会い、情報交換することによって、PTA活動の存在意義を再認識することができ、自己の成長に繋がっていると実感した一年でした。

PTA活動を通して、学んだことは数多くあります。学校について、地域について、教育について、社会について、人間関係について。簡単に言うと図書館に本を借りに行った感覚があります。「子ども達のために」という共通の課題のもと、身についたことは、幅広い分野について学んでいた自分がいました。「PTAは、なんて深くて広い分野なのだろう？」これが、6年間PTA活動に携わった実感です。

昨今、PTA役員の成り手不足が叫ばれていますが、一度皆さんもPTAの図書館に入ってみると人生観が変わるかも知れません。忙しいからと言っても、何も始まりません。忙しい人ほど、時間の有効活用が見えてきます。気がつく自分の成長に繋がっているのです。それを子ども達は、きっとお手本とする親の背中を何気に見ているのかも知れません。6年間で出会えた多くの皆さんに感謝です。そしてその様なPTAに携わる機会をくれた我が子にも感謝です。

# 早寝早起き朝ごはん運動

## 大人が変われば子どもも変わる

日時◆平成26年11月16日(日) 13時～16時  
場所◆サイエンスヒルズこまつわくわくホールにて



特別委員会 委員長 漆原 慎

今年で8年目となった“早寝早起き朝ごはん運動”。その小松市民大会は、場所をこれまでの「こまつ芸術劇場うらら」大ホールから「サイエンスヒルズこまつ」のわくわくホールに変え、また内容も講演会を中心としたものから、体験型イベントに変更して行いました。

家庭における早寝早起き朝ごはんは、保護者と子どもが互いに意識して取り組む必要があります。そのためにも家族で参加してもらうことで、家族で考えるきっかけを作りたい！といった思いから今回のイベントを企画しました。

ステージでは感動的な苗代小合唱団の歌声に始まり、優秀作品受賞者の表彰、小松市立学校PTA連合会母親委員会による研究発表、北陸体力科学研究所ダイナミックの管理栄養士による“食”をテーマにした講演が行われました。イベントコーナーでは全国植樹祭や小松っ子憲章などのPRコーナーのほか、体組成と骨強度測定では保護者が健康チェックをし、クイズラリーや昔のあそび、カブッキーの貯金箱づくりでは多くの子どもたちが楽しんでいました。

学力や体力と、早寝・早起き・朝ごはんといった生活習慣との関係は各種調査からとても明らかになっています。このような取り組みをさらに発展させ、みんなで子どもたちの健やかな成長を応援しましょう！この運動にご支援、ご協力いただいた多くの皆さま方にこの場を借りてお礼を申し上げます。

## 〈早寝早起き朝ごはん運動〉入賞者のみなさん

### ◆『わが家の標語』部門

栗津小学校6年 北村 丞梧さん・矢田野小学校6年 谷口 挑さん  
稚松小学校4年 野木 駿太さん・安宅小学校3年 東 美咲さん  
今江小学校1年 西嶋さやかさん

### ◆『わが家の朝ごはん』部門

松陽中学校1年 築田 怜奈さん・第一小学校6年 成島 東咲さん  
安宅小学校6年 田中日香莉さん・稚松小学校3年 有賀 羽悠さん  
芦城小学校2年 松島 美詩さん

### ◆『早寝早起き朝ごはん運動』ポスター・絵画部門

第一小学校6年 三井結生奈さん・第一小学校5年 漆原 杏美さん  
今江小学校4年 阿戸 はなさん・芦城小学校3年 蓮田 寿里さん  
波佐谷小学校3年 城下稀吉郎さん・第一小学校1年 松原 亜希さん

### ◆『早寝早起き朝ごはん運動』地域運動部門

梅田町町内会 代表者 山口 尚武様  
西軽海町4丁目子供会 代表者 山本 直美様

### 2015 早寝早起き朝ごはんCALENDAR



1月～6月

7月～12月

入賞された内容が2015年のカレンダーになりました！

- オープニング 苗代小学校合唱団
- 開会挨拶
- 来賓挨拶
- 表彰式
- 研究発表 「小松市立学校PTA 連合会母親委員会 研究発表」  
「食に関するミニセミナー」

オープニング



オープニングは苗代小合唱団のすてきな歌声から

表彰式



受賞されたみなさんおめでとうございます！

研究発表



母親委員会による発表

工作コーナー



大人気！カブッキーの貯金箱づくり

昔のあそびコーナー



竹とんぼが高く飛んでいました

マアサの紙芝居



マアサは、おかあさんをイメージして自分で名付けたペンネームだそうです。平成 18 年より読み語り活動を始め、地元（輪島市）の公共施設、小学校、保育園へ定期的におはなし会を開催しておられます。

# 第3回 母親委員会

◇グループ別研究発表会◇

日時◆平成26年10月6日(木) 午後7時より 場所◆第一地区コミュニティセンター 多目的ホール

第2回母親委員会にて、金沢工業大学 基礎教育部教職課程教授 白木みどり氏の『子育て改革、今求められる能力を考える』を拝聴し、その中から各グループでテーマを見つけ出し、討論するかたちで研修しました。各グループで集まり、大変意義のある時間を過ごすことができました。各小中学校に活動内容の冊子を配布してあります。ぜひ、ご覧ください。

## Aグループ



### 「子どもにやる気を起こさせるには？」

- |             |              |
|-------------|--------------|
| 西下美紀子 (今江小) | 小澤佐恵里 (芦城小)  |
| 新井 純美 (犬丸小) | 佐々木美智子 (国府小) |
| 坂本 沙樹 (符津小) | 西口 佐恵 (波佐谷小) |
| 富澤 由美 (粟津小) | 可貴 祐子 (木場小)  |

## Bグループ



### 「子どもの生きる力を育てる」

～ 家庭でできること ～

- |              |             |
|--------------|-------------|
| 長清久美子 (荒屋小)  | 中橋由美子 (安宅小) |
| 島口真記子 (串小)   | 喜多 陽子 (能美小) |
| 土田 正美 (東陵小)  | 吉川 美和 (苗代小) |
| 山田ひとみ (蓮代寺小) | 一松 映里 (西尾小) |

## Cグループ



### 「子どもたちのために 今 できること」

- |             |              |
|-------------|--------------|
| 嶋多 直子 (第一小) | 野村 陽子 (中海小)  |
| 日野 史 (稚松小)  | 吉本 友美 (矢田野小) |
| 白方 悦子 (月津小) | 本造優美子 (向本折小) |
| 丸山佳世子 (日末小) | 松元 利美 (金野小)  |
| 紺谷 広美 (那谷小) |              |

## Dグループ



### 「親の意識改革の重要性」

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 谷本 亜巳 (南部中) | 佐藤 鈴代 (御幸中) |
| 澤矢真由美 (丸内中) | 太田由美子 (松陽中) |
| 佐藤めぐみ (芦城中) | 藤島 静代 (板津中) |
| 濃渦ゆかり (安宅中) | 口田 薫 (中海中)  |
| 森 麻由美 (国府中) | 橋本 夕妃 (松東中) |

## 早寝早起き朝ごはん運動

～ 小松市民大会 ～

平成26年11月16日(日) 於:サイエンスヒルズこまつ



早寝早起き朝ごはん運動  
小松市民大会に於いても  
グループ研究発表を行い、  
市民の皆さんにも聴いて  
頂きました。

読んでみまっし!

## 「親ばか力」

子どもの才能を引き出す  
10の法則

著者:辻井いつ子  
出版社:アスコム

母親の生き方、子育てについての  
アドバイスが満載です。



母  
親  
委  
員  
会

# 母 親 研 修 会

日時◆平成26年11月20日(木)

金沢 越山甘清堂本店(体験) → 石川県立能楽堂(見学) → 四季料理 はる馬(昼食) → 白山野々市広域消防本部学習センター(見学・体験)



和菓子体験



PTA会長をはじめ、総勢25名が参加しました。普段見られない場所を見学させて頂きました。体験を通して交流が深められた研修会となりました。



## 参加者の感想

- ◆能楽堂では普段見る事の出来ない舞台裏を見せて頂き感動しました。
- ◆和菓子体験ではきれいな季節の和菓子を作られて嬉しかったです。

おいしかった～

昼食 ～はる馬にて～

## 小さな手紙



母親委員会  
委員長

番田 由佳  
(月津小)

「お弁当おいしかった。それと…頑張れたよ。ありがとう。」  
試合から帰ってきた娘のそっけない態度の中に、少しはにかんだような笑みが見え、私は嬉しくなりました。いつの頃からか娘の試合の時は、お弁当に小さな手紙を添えて持たせるようになりました。「大丈夫。きっとできるよ!」など、ほんの一言のメッセージですが、あとひと頑張りできるよう、そっと背中を押してあげるようなそんな気持ちで書いています。

先日娘からも“小さな手紙”をもらいました。それは、ごめんなさいの手紙です。夜、私の枕元にそっと置いてある手紙には、「今日のごめんなさい。お母さん大好き。」と書いてあります。少し言い過ぎたと後悔していた私の気持ちを温かく包んでくれました。言葉ではうまく伝わらない気持ちを、文字で心に届けることも大切なのかも知れません。

最後になりましたが、一年間共に活動し、温かい言葉と御協力を頂いた母親委員の皆様にご心より感謝申し上げます。

一年間

ありがとうございました

## 母親委員会 広報担当

松元 利美・本造優美子・土田 正美・小澤佐恵里



# 第17回 小松市中学校新世代会議

## 事業概要

- **日時・場所** 平成26年11月9日(日) 13:30~16:30 芦城センター多目的ホール
- **事業目的** 子供達が今、何を考えているのか本音や生の声を聞き、今後のPTA活動の参考とする。
- **対象者** 小松市立中学校生徒40名(各中学校2年生 男女各2名)
- **事業内容** 4テーブルに分かれ、テーマについて意見を出し合い議論する。司会進行や発表も生徒が主体となって実施する。

テーマ

世の中に言いたいこと



生徒の皆さん、参加ありがとうございました。



伝言ゲームで、名前と顔を覚えられたかな？



課題について真剣に議論



グループ発表

## グローバルな人材に

新世代委員会 委員長 本谷 徹

今年度の新世代会議では、『世の中に言いたいこと』という大きなテーマを設定し、今の中学生が学校、家庭、地域そして社会に対してどのように感じ、意見を持っているのか、本音を引き出し生徒と保護者がその思いを共有できたらという目的で開催しました。

限られた時間の中で、生徒たちが打ち解け本音をぶつけ合うには多少時間が不足気味ではありましたが、自分たちの意見をしっかりと発言しておりました。

今の子ども達は、学校の中で自分の思うことを伝えられているのか、という疑問を持つことがあります。人と違う素晴らしい意見を持っているにもかかわらず、口に出すことによって孤立する、目立つことを嫌うといった学校内での雰囲気があるという意見もだされていきました。逆に、そのような雰囲気を打破して行こうという頼もしい意見も多くありました。また、携帯・スマホの保有率は半数を優に超え、県全体の取り組みとのギャップもどうかという現実的な声もありました。

議論の内容は、やはり身近な学校での事象が中心となり、私達が少し期待していた社会への意見をテーマとしたグループはありませんでしたが、しっかりと個々の意見を持ち伝える姿は、成長を感じるものでした。彼らが成長するにつれ、社会に対し個々の意見を伝える、一石を投じるにはどう行動すればよいか、考えるきっかけとなればと思います。

参加された生徒は、各学校でもリーダー的な存在だと思います。このような会議を通して、更にリーダーとしての資質を磨き、将来的には地域や社会、ひいてはグローバルに活躍する人材へと成長されることを願っております。

参加してくれた生徒の皆さん、本当にありがとうございました。皆さんの成長を心から願っております。

## 単Pだより

荒屋小学校

## 橋渡し役になるべく育友会活動

荒屋小学校育友会会長 石井 克幸

荒屋小学校育友会では昨年度規約の一部を改訂し、本年度より3、4年生の保護者全員が何らかの委員会に配属され、一人一役をモットーに活動して頂いております。これはより多くの保護者様に実際に活動に携わって頂き子供達の学校生活や育友会活動にさらに関心を持ってもらうことが、PTA活動への底辺拡大に繋がっていくと考えています。変わることに支障はありましたが、時代に合った組織にすることが急務でありました。今後は、学校と地域と家庭の橋渡し役になるべく、育友会活動を発展していきたいと思ひます。

また、荒屋小学校では道徳教育の重要性が強く叫ばれている中、昨年度から石川県教育委員会指定「いしかわ道徳教育推進事業」の推進校となりました。今年度児童達は「ひかりの言葉、ひかりの行動」を中心に活動してきました。学校としては「人と地域を生かした道徳教育講座」公開授業参観を12月1日に開催することができました。

授業で得た成果は僅かかもしれませんが、意見交流会で学校と地域の方々と保護者が話し合えたことが、「家庭、学校、地域」の絆を深め、さらに連携していくことが大切だと相互確認出来たと思ひます。

未来を担うあらやっ子達が、豊かな心を持ち、校庭にあるポプラの木のように大きく育つよう、荒屋小学校育友会も少しずつ成長していきたいと思ひます。

日本PTA

## 第70回 東海北陸ブロックPTA研究大会 下呂大会

平成26年10月24日(金)～25日(土)



## 東海北陸ブロック PTA 研究大会 石川県小松大会に向けて

東陸大会プロジェクトチーム委員長 川腰 栄一

本年度の『ブロック P T A 研究大会岐阜大会 in 下呂』は来年度に向けて大変参考になる、とても盛り上がった大会だったと思います。石川県小松大会も、それに負けない内容で参加される P T A の皆様が「参加してよかった」と感じていただける大会にしていきたいと思います。まずは小松に来て頂いた方々には歌舞伎風に行った大会 P R で感じて頂いた通り、「歴史」を感じていただきたいと思います。また、全国的にも誇れる豊富で新鮮な海の幸・山の幸から創られる食に「おいしい」を感じていただきたいです。そして、分科会からメインフォーラムまで参加された皆様に人と人との繋がりの大切さ、心の絆が「子どもたちの未来を創る」ことを実感していただきます。それから参加者がお帰りの際には「また小松に来たいね」と思っていただけのように、精一杯心を込めて設営していきたいと思います。

前回に引き続き再三のお願いになりますが、大会成功に向けて皆様方の絶大なご支援が必要不可欠です。大変ご苦勞をお掛けすることとなりますが、何卒ご支援ご協力の程、宜しく申し上げます。



## ひだまり



### 出会いに感謝

小松市立学校 PTA 連合会 副会長 小島 美穂

3月、次女の中学卒業と同時に、私の5年間の役員生活も終わろうとしています。この間に、様々な方との出会いがありました。

中学の役員になったきっかけは、長女が中学2年になる際に校内の役員へ誘われたことでした。中学生になった途端、娘が部活以外の話をしなくなり困惑していた矢先だったので、少しでも学校の様子を知りたいと思い引き受けました。会計監査や、2つの委員会の長や母親代表(母代)を務め、市P連の役も2年間楽しんでやらせていただきました。期待していた通り、役員をしていることで学校へ出向く機会が増え、先生方とも親しくなり、わが子だけでなく子ども達それぞれの成長していく姿を身近に見ることができました。母代では共同研修で他校の母親達と出会い、子育てに関する共感したおしゃべりにも花が咲きました。市P連では母親委員会の運営のために担当役員で相談を重ねる中で、強い連帯感を育ててきました。また、児童虐待防止部会や社会教育委員会の一員として、会合に参加する機会をいただき、教育に対する視野を広げ生涯を通して社会に貢献していく意識を持つことができました。

私を成長させてくださった方々や快く送り出してくれた家族に感謝し、これからは地域の人として子ども達を見守っていききたいと思います。

## 編集後記

あっという間の一年でした。はたして皆さんの活動内容がうまく伝えられたかはわかりませんが、貴重な体験をさせていただきました。また、本稿のために寄稿して頂いた皆様には感謝致します。ありがとうございました。

広報委員長 徳本 康志(日末小)

### 広報委員会

徳本 康志(日末小)  
 安達 万里(安宅小)  
 西田 清明(中海小)  
 前野 貴志(犬丸小)  
 谷保 博己(波佐谷小)  
 東 友起子(荒屋小)  
 鳥居 勝治(東陵小学校校長)

